

## 「あなたへ」

私はあなたを愛しています。

あなたと付き合い始めて、もう六年ほどになるでしょうか。  
この六年、いろいろなことがありましたね。あなたと出会ったのは、六年前の春。  
友人に連れられたあなたと、私はすぐに打ち解けましたね。

その日からあなたは、私の傍にいつも居てくれ、陰ながら支えてくれています。  
私が試験勉強などで、辛いときも、あなたは黙つて私を励ましてくれましたね。  
試験本番にも、あなたは応援してくれ、何も言わずに近くに居てくれましたね。  
だけど、そんな三年目の春。私は浮気をしそうになりました。

あなたよりもかつてよく、スマートなアーティスティックに心ひかれたのです。

でも、どんなにあなたよりかつてよくても、

あなたと歩んできた六年という大切な時間に勝てるはずはありません。

私は、あなたの無口で芯のあるところが大好きです。

これからも、あなたの命が尽きるまで傍に居たいです。

よろしくお願ひします。

P.S. あの日友達の引っ越しの際、餞別としてもらった、ピンクのシャーペン。  
使い始めて約六年。

今では色もはげてしまい、ボロボロ。

でも、私はこれからも「あなた」を使っていきます。

もちろん、この恋文でもあなたは大活躍。